

HAPPY HELP



職業講話

建築士 南 俊允 さん

1月16日(火)5限に、横浜国立大学客員教授・建築士の南 俊允さんをお招きして、職業講話が行われました。川北町出身であり、自身の学生時代の話や生き立ちを話してくれました。また、建築士という職業についてのやりがいや、大変なことを話してくださいました。実際に南さんが設計した建物の模型を持ってきてくださり、生徒も手に取って曲線で作られた壁の建物の模型を間近で見ることができ、貴重な経験をさせていただきました。将来、社会人になるみんなにたくさんの具体的なアドバイスを教えてもらったりして、大変有意義な時間を過ごすことができました。以下、感想を紹介します。



I 組

南さんは子供の頃から思っていたことを実現して、またそれを職業にしていますすごいと思いました。また、依頼者の希望により近い提案をし、喜んでもらうところが素敵だと思いました。どの職業についてとしても、それが誰かの役に立って誰かを笑顔にすると私は思っています。自分の好きなこと、興味があることの仕事に就けたら楽しいだろうけど、もしやりたい仕事につけなかったとしても、誰かがどこかで感謝してくれていること、笑顔を浮かべてくれていることを忘れずに頑張りたいと思います。

今日の講話を聞いて、お客様の要望に応えたり、逆に建築家が提案したりしていることが分かりました。また、南さんの「いつか絶対に好きなことに出会う」という言葉を聞いて安心しました。もっと幅広く世界を見ていき、自分の興味あることを見つけていきたいです。そして、建築家も他の職業も人の役に立つ職業だと感じました。私も、人の役に立つ職業を選んでいきたいです。

自分の親も建築業を営んでいてとても興味深く、面白い時間でした。家の壁をグニャグニャにするという面白い発想が、僕が今後の設計士になった時の発想の参考となるなどと思い、とてもためになりました。また、建物を立てる前に何度も相談するということが分かりましたし、大変だと感じました。けれど、要望通りに設計するのは楽しそうだなと思いました。



2組

南さんの話を聞いて、自分の意見だけで決めるのではなく、お客さんや一緒に仕事をする人などに許可などを取ることが大切だと分かりました。家などを建てるときに、色々な人が携わっていることに驚きました。あと、家を実際に作る前に一度模型などを作ることに驚きました。南さんは1年で1つ2つの建物を作ると言っていたので、とてもお客さんのことを考えていいものを作っているんだなと思いました。自分もお客さんなど周りの人を考えられる人になりたいと思いました。

お客さんの要望に合わせて設計を行っていてすごかったです。美容室も外を感じられるような設計とどんなお客さんが来るかで考えていて「そこまで考えているんだ」と驚きました。また、部屋はたしかに□じゃなくて△、○などでもいいなと考えさせられました。○の方が耐震も強いと知って、日本は地震が多いからそっちの方があっているんじゃないかなと思いました。細かく作られた模型もすごかったので、実際に手にとって見られて良かったです。

自分も建築家に興味があるので面白かったです。建築家の仕事がどういうものかを知ることができてよかったです。日常で思ったことや違和感を仕事に活かしていてすごいと思いました。建築家になるには数学、理科の知識が必要になると知ったので、社会に出るために勉強していきたいです。自分も興味のある職業に就きたいと感じました。

3組

建築士の仕事分かりました。南先生が心がけていることはその人のために1つ1つ丁寧に作ることだということが分かりました。美容室の鏡の作り方がすごいと思いました。そして南先生が今作っている建物の構造が、壁が曲線だったり、時間帯によって生活空間が重ならないように配慮されていて、とても素敵だと思いました。将来は南先生のように自分のやりたいことを叶えていきたいです。

南先生の建築士という職業について分かりました。模型などがあって分かりやすかったです。南先生はお客さんの望みを聞き、じっくり考えて建物をつくっているなど、仕事で大切にしていることが多くとても素敵だと思いました。僕も実際に仕事についたときは、信念を持って仕事をしたいです。そのためにも、勉強をしっかりとし、職業を決められるようにしたいです。

南先生は、小さい頃自分がおかしいなと思っていたことを職業を通して変えていてすごいと思いました。まだ自分には正確な夢がないけどこれから探していきたいです。周りの人の影響を受けることが多いと言っていたので人とのつながりも大切にしたいです。建築士という仕事についても知れてよかったです。自分にあった仕事を探していきたいと思いました。

